

環境関連活動調査表

サプライヤさま 各位

株式会社NTTドコモ

貴社の取り組み状況について、下記の質問事項にご回答頂きますようお願い致します。

質問の回答選択肢の数字を「回答」欄内に、補足等ありましたら「備考」欄内にご記入願います。

2021年11月より調査表が新しくなりました。シート「温室効果ガス削減の取り組み状況」、「環境への取り組み状況」、「提案製品について」の記入も併せて御願致します。

環境への取り組みに関して提案者と提案する製品のメーカーが異なる場合は提案する製品のメーカーに関しても様式4_1「環境関連活動調査表」を提出してください。

サプライヤさま情報

作成日		連絡先 電話番号	
貴社名		連絡先 FAX番号	
所属部門名		連絡先 E-Mailアドレス	
記入者名			

No	項目	質問事項	回答選択肢	回答	備考
必須事項 ※ソフトウェアの調達については記入不要です。					
1	製品含有化学物質調査	1 『製品含有化学物質調査回答書』又は『chemSHARPA-AIデータ』を必ず提出できますか	1.提出できる 2.提出できない		
		2 国際規格IEC62474 の基準に準じ、国内外の条約・法令・条例・規制等に従って、含有化学物質毎に定められた閾値レベルを遵守した提案が可能ですか？	1.はい 2.いいえ		
		3 弊社顧客の依頼に基づき、各種法規制（RoHS指令等）に関する「不使用証明書」「自己適合宣言書」等の保証書を必ず提出できますか？	1.提出できる 2.提出できない		
要望事項					
1	グリーン調達・購買システム	1 グリーン調達・購買システムを構築、運用していますか	1.実施している 2.実施していない		
		2 グリーン調達・購買の範囲はどこまでですか	1.事務用品 2.事務用品、生産部材（製品・部品・材料・資材等）		
2	事業所の環境負荷低減 ※サプライチェーンサステナビリティ推進ガイドライン(Ⅲ 環境)参照	次の項目に取り組んでいますか			※活動内容・補足は以下に記載願います
		1 廃棄物削減・リサイクル ※NTTドコモ グリーン調達基準(2.7.6 リサイクル・廃棄方法)	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない		
		2 省エネルギー・省資源 ※NTTドコモ グリーン調達基準(2.7.2 製品の設計)	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない		
		3 水資源の保全 ※例) 排水の再利用等、取水量の削減、モニタリング等	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない 3.該当なし		
3	製品の環境負荷低減 ※NTTドコモ サプライチェーン サステナビリティ推進ガイドライン(Ⅲ 環境)参照	次の製品のライフサイクルでの環境負荷を低減する活動を実施していますか			※活動内容・補足は以下に記載願います
		1 材料の統一、選定、有害物質抑制 ※NTTドコモ グリーン調達基準(2.7.1 材料)	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない		
		2 回避すべき加工法 ※NTTドコモ グリーン調達基準(2.7.2 製品の設計)	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない		
		3 省資源性の向上 ※NTTドコモ グリーン調達基準(2.7.2 製品の設計)	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない		
		4 分解の容易性 ※NTTドコモ グリーン調達基準(2.7.2 製品の設計)	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない		
		5 材料名の表示 ※NTTドコモ グリーン調達基準(2.7.3 表示)	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない		
		6 省エネルギー性の向上 ※NTTドコモ グリーン調達基準(2.7.2 製品の設計)	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない		
		7 梱包材(繰返し可能な構造、再生材、表示方法) ※NTTドコモ グリーン調達基準(2.7.4 梱包材)	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない		
		8 廃棄処理の容易性 ※NTTドコモ グリーン調達基準(2.7.5 廃棄処理の容易性)	1.取り組んでいる 2.取り組んでいない		

ご協力ありがとうございました

記載内容に変更が生じましたらその都度提出をお願い致します。

様式_温室効果ガス削減の取り組み状況

様式4_1
ver.20250317

項目	ご回答1	ご回答2	当社からの要求事項等																																										
① 企業等名を記載			提案製品が提案者と異なる場合には、提案製品のメーカーについても本様式を提出をお願いします。 回答がAの場合は、中小企業の要件を適用します。 ・中小企業(②のA)に該当し、要件達成が困難な場合は、何等かの温室効果ガス削減施策を策定・計画していることと要件を満たしていることとみなす場合があります。 ※個別に確認のうえ判断いたしますので、取り組み内容を必へ記載の上、ご回答をお願いします。																																										
② 提案者および提案内容について右記から選択	A.提案者は従業員500人未満（※を記載ください） B.上記以外		■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ※「別冊 環境への取り組み条件」の「2.要求条件および評価基準」にある要求条件を参照ください。																																										
③ SBTへの参加状況について ※親会社が認定取得 or コミット済みの場合は、親会社の状況を回答し、ご回答2欄に親会社名を記載するようお願いいたします。	A. SBTの認定を取得済み B. SBTへの参加をコミット済み C. SBTへ参加していない																																												
④ 温室効果ガス実績の算定状況について ※親会社が自らも含めて算定している場合は、親会社の状況でも可です。なお、ご回答2欄に親会社名を記載するようお願いいたします。	A. 算定している(回答2欄に数値を記載) B. 一部算定(本社のみ、scope1のみ等)(回答2欄に数値を記載) C. 算定していない	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">x x x x年(or 年度)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">温室効果ガス排出量</td> <td>Scope1 :</td> <td></td> <td>万t-CO2</td> </tr> <tr> <td>Scope2 :</td> <td></td> <td>万t-CO2</td> </tr> <tr> <td>Scope3 (上流・カテゴリ1~8) :</td> <td></td> <td>万t-CO2</td> </tr> <tr> <td>Scope3 (下流・カテゴリ9~15) :</td> <td></td> <td>万t-CO2</td> </tr> <tr> <td>合計 :</td> <td>0</td> <td>万t-CO2</td> </tr> <tr> <td>Scope3の割合 (自動計算)</td> <td>#DIV/0!</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">算定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">売上</td> <td>売上額</td> <td></td> <td>億円</td> </tr> <tr> <td>売上の備考</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">温室効果ガス排出原単位</td> <td>#DIV/0!</td> <td>t-CO2/百万円</td> </tr> </table>	x x x x年(or 年度)				温室効果ガス排出量	Scope1 :		万t-CO2	Scope2 :		万t-CO2	Scope3 (上流・カテゴリ1~8) :		万t-CO2	Scope3 (下流・カテゴリ9~15) :		万t-CO2	合計 :	0	万t-CO2	Scope3の割合 (自動計算)	#DIV/0!		算定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :				親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :				売上	売上額		億円	売上の備考			温室効果ガス排出原単位		#DIV/0!	t-CO2/百万円	■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ・Scope1,2,3排出量の算定をお願いします。 ・Scope3の割合について、備考欄を超える or 超えない or 不明のいずれかを記載※ ※不明の場合は、「B.一部算定(本社のみ等)(備考欄に数値を記載)」に該当しますので、Scope3の算定をお願いします。
x x x x年(or 年度)																																													
温室効果ガス排出量	Scope1 :		万t-CO2																																										
	Scope2 :		万t-CO2																																										
	Scope3 (上流・カテゴリ1~8) :		万t-CO2																																										
	Scope3 (下流・カテゴリ9~15) :		万t-CO2																																										
	合計 :	0	万t-CO2																																										
	Scope3の割合 (自動計算)	#DIV/0!																																											
算定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :																																													
親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :																																													
売上	売上額		億円																																										
	売上の備考																																												
温室効果ガス排出原単位		#DIV/0!	t-CO2/百万円																																										
⑤ ④を社外へHP等で公表している場合はURL等を記載 ※実績が公表されている箇所がわかるように記載をお願いします。			■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。																																										
⑥ ④に記載の売上高を社外へHP等で公表している場合はURL等を記載 ※実績が公表されている箇所がわかるように記載をお願いします。																																													
⑦ 温室効果ガスの削減目標の設定状況について ※親会社が自らも含めて設定している場合は、親会社の状況でも可です。なお、ご回答2欄に親会社名を記載するようお願いいたします。	A. 設定している(回答2欄に数値を記載) B. 一部設定(本社のみ、scope1のみ等)(回答2欄に数値および目標設定範囲を記載) C. 設定していない	<table border="1"> <tr> <td>基準年 : x x x x年(or 年度)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標年 : x x x x年(or 年度)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Scope1+Scope2目標 : xx%削減</td> <td></td> <td>%削減</td> </tr> <tr> <td>Scope1+Scope2目標 : 年x.xx%削減</td> <td></td> <td>%削減/年</td> </tr> <tr> <td>Scope3目標 : xx%削減</td> <td></td> <td>%削減</td> </tr> <tr> <td>Scope3目標 : 年x.xx%削減</td> <td></td> <td>%削減/年</td> </tr> <tr> <td>合計目標(設定している場合) : xx%削減(年x.xx%削減)</td> <td></td> <td>%削減/年</td> </tr> <tr> <td colspan="2">目標設定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :</td> <td></td> </tr> </table>	基準年 : x x x x年(or 年度)			目標年 : x x x x年(or 年度)			Scope1+Scope2目標 : xx%削減		%削減	Scope1+Scope2目標 : 年x.xx%削減		%削減/年	Scope3目標 : xx%削減		%削減	Scope3目標 : 年x.xx%削減		%削減/年	合計目標(設定している場合) : xx%削減(年x.xx%削減)		%削減/年	目標設定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :			親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :			■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ■NTTコムと同等以上の目標設定のご協力をお願いします。 NTTコム目標：「毎年1.23%の温室効果ガスを削減し、2030年度は2019年度比14%の温室効果ガスを削減」 なお、以下の場合についてはSBTに基づき、Scope3の目標設定が必須ではありません。 ①提案者が従業員500人未満の場合 ②Scope3の割合がScope1~3の合計の40%を超えない場合※ ※不明の場合は、「B.一部設定(本社のみ等)(備考欄に数値および目標設定範囲を記載)」に該当しますので、Scope3の算定をお願いします。 ■Scope3の目標範囲はScope3全体の2/3を網羅するカテゴリでお願いします。 ■合計した目標で記載しても可です。 ※設定範囲が会社全体やScopeを網羅していない場合は取り組みの検討をお願いします。															
基準年 : x x x x年(or 年度)																																													
目標年 : x x x x年(or 年度)																																													
Scope1+Scope2目標 : xx%削減		%削減																																											
Scope1+Scope2目標 : 年x.xx%削減		%削減/年																																											
Scope3目標 : xx%削減		%削減																																											
Scope3目標 : 年x.xx%削減		%削減/年																																											
合計目標(設定している場合) : xx%削減(年x.xx%削減)		%削減/年																																											
目標設定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :																																													
親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :																																													
⑧ ⑦を社外へHP等で公表している場合はURL等を記載 ※目標が公表されている箇所がわかるように記載をお願いします。			■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。																																										
⑨ 【④の回答がB・C or ⑦の回答がB・C or ⑤⑥⑧が公表していない場合に回答】 ④~⑦の取組みが不十分の場合や公表していない場合は、取組みおよびHP等での社外への公表の予定について記載 (1年後を目標に公表が難しい場合の理由や具体的なスケジュール(2年後を目標に実施等)があれば、回答2欄に記載をお願いします。)	A. 取組みおよび公表する予定がある(備考欄に予定年月を記載) B. 取組みおよび公表する(1年後を目標に実施) C. 取組みおよび公表する予定はない		■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ■原則、「別冊 環境への取り組み条件」に記載の要件①・②をRFP応札時から1年を目標に満たすようにお願いします。 ■1年後を目標に公表が難しい場合の理由や具体的なスケジュールがあれば、備考欄に記載をお願いします。 理由と実施予定時期を確認のうえ、個別の期間を延長する場合があります。 ■取組み状況について確認させていただくことがありますので、ご協力をお願いします。																																										
⑩ 上記以外で温室効果ガス削減の取り組みを計画・実行している場合は記載するようお願いいたします。			・中小企業(②のA)に該当し、要件達成が困難な場合は、何等かの温室効果ガス削減施策を策定・計画していることと要件を満たしていることとみなす場合があります。 ※個別に確認のうえ判断いたしますので、内容を回答へ記載をお願いします。 ・取り組み状況について確認させていただくことがありますので、ご協力をお願いします。																																										

■温室効果ガス削減の取り組み状況を評価し、要求条件を満たす提案者から優先的に調達いたします。※「別冊 環境への取り組み条件」の「2.要求条件および評価基準」を参照ください。

■温室効果ガス削減の取り組みは以下についてご協力をお願いします。

【要求条件】

要件① SBTの認定を取得している。(コミット中も含む)

要件② SBTの認定は取得していないものの、温室効果ガス排出目標・実績が公表されており、NTTの目標と同等以上である

要件③ 調達時点(現時点)では満たさないが、時期(向こう1年を目標)を明確にして要件①②のいずれかを実施することとする。

※詳細は「別冊 環境への取り組み条件」を参照願います

■必要に応じて参考資料を別添で提出をお願いします。

【参考URL】 NTTの目標 : <https://group.ntt.jp/environment/management/statement/>

SBTについて : https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/ (グリーン・バリューチェーンプラットフォーム【環境省・経済産業省】)

【記入例】 様式_温室効果ガス削減の取り組み状況

様式4_1
ver.20250317

項目	ご回答1	ご回答2	当社からの要求事項等																																							
① 企業等名を記載	株式会社NTTドコモ		提案製品が提案者と異なる場合には、提案製品のメーカーについても本様式を提出をお願いします。 回答がAの場合は、中小企業の要件を適用します。																																							
② 提案者および提案内容について右記から選択	B. 上記以外		・中小企業(②のA)に該当し、要件達成が困難な場合は、何等かの温室効果ガス削減施策を策定・計画していることで要件を満たしているとみなす場合があります。 ※個別に確認のうえ判断いたしますので、取り組み内容を併へ記載の上、ご回答をお願いします。																																							
③ SBTへの参加状況について ※親会社が認定取得 or コミット済みの場合は、親会社の状況を回答し、ご回答2欄に親会社名を記載するようお願いします。	A. SBTの認定を取得済み		■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ※「別冊 環境への取り組み条件」の【2. 要求条件および評価基準】にある要求条件を参照ください。																																							
④ 温室効果ガス実績の算定状況について ※親会社が自らも含めて算定している場合は、親会社の状況でも可です。なお、ご回答2欄に親会社名を記載するようお願いします。	A. 算定している(回答2欄に数値を記載)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">x x x x 年(or 年度)</th> <th>2022</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">温室効果ガス排出量</td> <td>Scope1 :</td> <td>4.6</td> <td>万t-CO2</td> </tr> <tr> <td>Scope2 :</td> <td>105.2</td> <td>万t-CO2</td> </tr> <tr> <td>Scope3 (上流・カテゴリ1~8) :</td> <td>287.1</td> <td>万t-CO2</td> </tr> <tr> <td>Scope3 (下流・カテゴリ9~15) :</td> <td>25.2</td> <td>万t-CO2</td> </tr> <tr> <td>合計 :</td> <td>422.1</td> <td>万t-CO2</td> </tr> <tr> <td>Scope3の割合 (自動計算)</td> <td>74%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>算定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :</td> <td colspan="2">算定範囲 : 国内外連結子会社含む</td> </tr> <tr> <td>親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">売上</td> <td>売上額</td> <td>45,019</td> <td>億円</td> </tr> <tr> <td>売上の備考</td> <td colspan="2">スマートフォン+コンシューマ通信</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガス排出原単位</td> <td>0.88163</td> <td>t-CO2/百万円</td> </tr> </tbody> </table>	x x x x 年(or 年度)		2022	年度	温室効果ガス排出量	Scope1 :	4.6	万t-CO2	Scope2 :	105.2	万t-CO2	Scope3 (上流・カテゴリ1~8) :	287.1	万t-CO2	Scope3 (下流・カテゴリ9~15) :	25.2	万t-CO2	合計 :	422.1	万t-CO2	Scope3の割合 (自動計算)	74%		算定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :	算定範囲 : 国内外連結子会社含む		親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :	-		売上	売上額	45,019	億円	売上の備考	スマートフォン+コンシューマ通信		温室効果ガス排出原単位	0.88163	t-CO2/百万円	■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ・Scope1,2,3排出量の算定をお願いします。 ・Scope3の割合について、備考欄に超える or 超えない or 不明のいずれかを記載※ ※不明の場合は、「B. 一部算定(本社のみ等)(備考欄に数値を記載)」に該当しますので、Scope3の算定をお願いします。
x x x x 年(or 年度)		2022	年度																																							
温室効果ガス排出量	Scope1 :	4.6	万t-CO2																																							
	Scope2 :	105.2	万t-CO2																																							
	Scope3 (上流・カテゴリ1~8) :	287.1	万t-CO2																																							
	Scope3 (下流・カテゴリ9~15) :	25.2	万t-CO2																																							
	合計 :	422.1	万t-CO2																																							
	Scope3の割合 (自動計算)	74%																																								
	算定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :	算定範囲 : 国内外連結子会社含む																																								
親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :	-																																									
売上	売上額	45,019	億円																																							
	売上の備考	スマートフォン+コンシューマ通信																																								
温室効果ガス排出原単位	0.88163	t-CO2/百万円																																								
⑤ ④を社外へHP等で公表している場合はURL等を記載 ※実績が公表されている箇所がわかるように記載をお願いします。	https://www.docomo.ne.jp/binary/pdf/corporate/csr/report/csr2024w_003.pdf?ver=1732860020		■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。																																							
⑥ ④に記載の売上高を社外へHP等で公表している場合はURL等を記載 ※実績が公表されている箇所がわかるように記載をお願いします。	https://www.docomo.ne.jp/corporate/ir/library/finance/																																									
⑦ 温室効果ガスの削減目標の設定状況について ※親会社が自らも含めて設定している場合は、親会社の状況でも可です。なお、ご回答2欄に親会社名を記載するようお願いします。	A. 設定している(回答2欄に数値を記載)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準年 : x x x x 年(or 年度)</th> <th>Scope1,2:2018 Scope3:2019</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標年 : x x x x 年(or 年度)</td> <td>2030</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>Scope1+Scope2目標 : xx%削減</td> <td>50</td> <td>%削減</td> </tr> <tr> <td>Scope1+Scope2目標 : 年x.xx%削減</td> <td>4.2</td> <td>%削減/年</td> </tr> <tr> <td>Scope3目標 : xx%削減</td> <td>14</td> <td>%削減</td> </tr> <tr> <td>Scope3目標 : 年x.xx%削減</td> <td>1.23</td> <td>%削減/年</td> </tr> <tr> <td>合計目標(設定している場合) : xx%削減(年x.xx%削減)</td> <td>-</td> <td>%削減/年</td> </tr> <tr> <td>目標設定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :</td> <td colspan="2">算定範囲 : 国内外連結子会社含む</td> </tr> <tr> <td>親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </tbody> </table>	基準年 : x x x x 年(or 年度)	Scope1,2:2018 Scope3:2019	年度	目標年 : x x x x 年(or 年度)	2030	年度	Scope1+Scope2目標 : xx%削減	50	%削減	Scope1+Scope2目標 : 年x.xx%削減	4.2	%削減/年	Scope3目標 : xx%削減	14	%削減	Scope3目標 : 年x.xx%削減	1.23	%削減/年	合計目標(設定している場合) : xx%削減(年x.xx%削減)	-	%削減/年	目標設定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :	算定範囲 : 国内外連結子会社含む		親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :	-		■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ■NTTドコモと同等以上の目標設定のご協力をお願いします。 NTTドコモ目標 : 「毎年1.23%の温室効果ガスを削減し、2030年度は2019年度比14%の温室効果ガスを削減」 なお、以下の場合についてはSBTに基づき、Scope3の目標設定が必須ではありません。 ①提案者が従業員500人未満の場合 ②Scope3の割合がScope1~3の合計の40%を超えない場合※ ※不明の場合は、「B. 一部設定(本社のみ等)(備考欄に数値および目標設定範囲を記載)」に該当しますので、Scope3の算定をお願いします。 ■Scope3の目標範囲はScope3全体の2/3を網羅するカテゴリでお願いいたします。 ■合計した目標で記載しても可です。 ※設定範囲が会社全体やScopeを網羅していない場合は取り組みの検討をお願いします。												
基準年 : x x x x 年(or 年度)	Scope1,2:2018 Scope3:2019	年度																																								
目標年 : x x x x 年(or 年度)	2030	年度																																								
Scope1+Scope2目標 : xx%削減	50	%削減																																								
Scope1+Scope2目標 : 年x.xx%削減	4.2	%削減/年																																								
Scope3目標 : xx%削減	14	%削減																																								
Scope3目標 : 年x.xx%削減	1.23	%削減/年																																								
合計目標(設定している場合) : xx%削減(年x.xx%削減)	-	%削減/年																																								
目標設定範囲 (グループ全体/自社単独 等) :	算定範囲 : 国内外連結子会社含む																																									
親会社名(親会社の取り組みを記載する場合) :	-																																									
⑧ ⑦を社外へHP等で公表している場合はURL等を記載 ※目標が公表されている箇所がわかるように記載をお願いします。	https://www.docomo.ne.jp/binary/pdf/corporate/csr/report/csr2024w_003.pdf?ver=1732860020		■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。																																							
⑨ ④~⑦の取組みが不十分の場合や公表していない場合は、取組みおよびHP等での社外への公表の予定について記載 (1年後を目途に公表が難しい場合の理由や具体的なスケジュール(2年後を目途に実施等)があれば、回答2欄に記載をお願いします。)			■提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。 ■原則、「別冊-4 環境への取り組み条件」に記載の要件①・②をRFP応募時から1年を目途に満たすようにお願いします。 ■1年後を目途に公表が難しい場合の理由や具体的なスケジュールがあれば、備考欄に記載をお願いします。 理由と実施予定時期を確認のうえ、個別の期間を延長する場合があります。 ■取り組み状況について確認させていただくことがありますので、ご協力をお願いします。																																							
⑩ 上記以外で温室効果ガス削減の取り組みを計画・実行している場合は記載するようお願いします。			・中小企業(②のA)に該当し、要件達成が困難な場合は、何等かの温室効果ガス削減施策を策定・計画していることで要件を満たしているとみなす場合があります。 ※個別に確認のうえ判断いたしますので、内容をご回答へ記載をお願いします。 ・取り組み状況について確認させていただくことがありますので、ご協力をお願いします。																																							

様式_環境への取り組み状況

様式4_1
ver.20250317

	項目	ご回答	根拠	備考欄	当社からの要求事項等
提案者 について	1 企業名※提案者の企業名			親会社名※： ※3〜7について親会社の取り組みを記載する場合	■3〜7の取り組みについて、提案者も含めて親会社が取り組みをしている場合は、親会社の取り組み内容を記載することも可です。
	2 環境マネジメントシステム	A. 第三者認証を得ている(根拠欄へ認証名を記載) B. 第三者認証を得ていないが、環境マネジメントシステムを構築している(備考欄もご回答願います) C. 環境マネジメントシステムを構築していない			■環境マネジメントシステムの構築をお願いします。 ■環境方針や、環境目標の策定と実施状況等が簡潔にわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■第三者認証を得ている場合は、認証名を根拠欄へ記載をお願いします。 ■現時点では環境マネジメントシステムを構築していないが、今後構築する計画がある場合は検討状況及び実施予定時期について根拠欄へ記載をお願いします。
	3 温室効果ガス削減				■「温室効果ガス削減の取り組み状況」シートのご記入をお願いします。 ■既に公表している目標値がNTTより高い場合にはプラスの評価をします。
	4 資源循環の取り組み	A. 取り組みを実施しており、HP等で公表している(URLを根拠へ記載) B. 取り組みを実施しているが、HP等で公表していない C. 取り組みを実施していない			■取り組みを公表している場合は、URLと該当箇所がわかるように根拠へ記載し、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■取り組みを公表していない場合は、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 必要に応じて取り組み内容がわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■A⇒Bの順でプラスの評価をします。
	5 生物多様性の取り組み	A. 取り組みを実施しており、HP等で公表している(URLを根拠へ記載) B. 取り組みを実施しているが、HP等で公表していない C. 取り組みを実施していない			■取り組みを公表している場合は、URLと該当箇所がわかるように根拠へ記載し、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■取り組みを公表していない場合は、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 必要に応じて取り組み内容がわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■A⇒Bの順でプラスの評価をします。
	6 鉱物トレーサビリティに関する取り組み	A. 取り組みを実施しており、HP等で公表している(URLを根拠へ記載) B. 取り組みを実施しているが、HP等で公表していない C. 取り組みを実施していない			■取り組みを公表している場合は、URLと該当箇所がわかるように根拠へ記載し、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■取り組みを公表していない場合は、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 必要に応じて取り組み内容がわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■A⇒Bの順でプラスの評価をします。
	7 環境保全に関する取り組み	A. 取り組みを実施しており、HP等で公表している(URLを根拠へ記載) B. 取り組みを実施しているが、HP等で公表していない C. 取り組みを実施していない			■取り組みを公表している場合は、URLと該当箇所がわかるように根拠へ記載し、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■取り組みを公表していない場合は、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 必要に応じて取り組み内容がわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■A⇒Bの順でプラスの評価をします。
	8 サプライチェーン上流への取り組み	A. 取り組みを実施しており、HP等で公表している(URLを根拠へ記載) B. 取り組みを実施しているが、HP等で公表していない C. 取り組みを実施していない			■取り組みを公表している場合は、URLと該当箇所がわかるように根拠へ記載し、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 ■取り組みを公表していない場合は、備考欄へ取り組み内容を簡潔に記載をお願いします。 必要に応じて取り組み内容がわかる資料を提出してください。(フォーマットはフリー) ■A⇒Bの順でプラスの評価をします。
製品 について	9 提案製品に関する取り組み状況				■「提案製品について」のシートへの記載をお願いします。

■環境への取り組み状況を確認し、プラスの評価を実施します。※参考：「別冊 環境への取り組み条件」
 ■NTTグループの環境活動方針とサプライヤの皆様への要請については、NTTグループ サプライチェーンサステナビリティ推進ガイドラインとNTTグループ グリーン調達基準を参照願います。
 【参考URL】 NTTグループ サプライチェーンサステナビリティ推進ガイドライン： <https://group.ntt.jp/newsrelease/2022/02/16/pdf/220216ab.pdf>
 NTTグループ グリーン調達基準： <https://group.ntt.jp/newsrelease/2022/02/16/pdf/220216ac.pdf>

様式_提案製品について

様式4_1

1. 省エネ性能について

ver.20250317

	製品名	メーカー名	省エネ性能(星の数を記載)	計算式(根拠)	備考
①					■必要に応じて、補足資料を提出してください。
②					
③					

■省エネ性能を確認し、プラスの評価を実施します。※参考：「別冊 環境への取り組み条件」
 ■計算方法は、ICT分野におけるエコロジーガイドラインに記載の計算方法で算出をお願いします。
 【参考URL】 ICT分野におけるエコロジーガイドライン協議会：<https://www.tca.or.jp/information/ecoict/index.html>

2. ICPを適用するための製品の定格電力値 ※電気を使用する機器の場合は記載

ver.20250317

製品名	メーカー名	定格電力値(Kw)	備考
			■必要に応じて、補足資料を提出してください。

■「定格電力値」については、すべての機能を最大限に使用した場合に消費する電力量（定格消費電力）をご記載ください。

3. 製品に関するプラスチック材料削減に関する取り組み

ver.20250317

項目	ご回答	備考欄
提案製品に関する取り組み状況	A. 製品にリサイクル材料およびバイオマスプラスチックを使用している B. 製品にリサイクル材料およびバイオマスプラスチックを使用していない	一部でも使用していれば「使用している」として回答可能。
	A. 梱包資材（個装箱等を含む）にプラスチック素材を使用していない B. 梱包資材（個装箱等を含む）にプラスチック素材を使用している	左記のプラスチック素材にリサイクル材料およびバイオマスプラスチックは含まないものとする。 梱包資材について、ドコモ向けだけでなくお客様向けも含む。